

空調機保守点検

件名	空調機保守点検	図面番号	1/6
図名	表紙	縮尺	—
陸上自衛隊小倉駐屯地業務隊			令和7年3月11日

特記仕様書

1 件名
空調機保守点検

2 場所

- (1) 福岡県北九州市小倉南区北方5丁目1-1 陸上自衛隊 小倉駐屯地
(2) 福岡県北九州市小倉北区大字富野官有無番地 陸上自衛隊 富野分屯地

3 概要

下記に示す建物内の空調機保守点検

- (1) 小倉駐屯地
125号隊舎・143号隊舎・144号整備工場・地本庁舎・警衛所・169号隊舎
(2) 富野分屯地
本部隊舎

4 一般事項

- (1) 本役務において図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」による。
(2) 請負者は仕様書及び現地において、相違・疑義あるいは不明な点が生じた場合は、監督官と協議しその指示に従うこと。
(3) 役務中における火災予防、労働安全及び在来施設等の保護には、十分注意を払うものとし、破損等させた場合は、請負者の責任において速やかに原形に復旧すること。
また、保守点検において、請負者の点検要領の不備により空調機等が故障した場合についても請負者の負担において復旧するものとする。
(4) 請負者は現場の整理整頓、清掃を実施すること。
(5) 本役務の写真は、デジタルカメラを使用し、着手前、作業中、完了時、使用材料及び監督官の指示するところを撮影し、写真台帳(A4判)に整理し、監督官に提出すること。
ただし、撮影したデータは請負者の責任において確実に消去するものとし、電子記憶媒体の提出は不要とする。
(6) 本役務の点検結果報告書については、点検終了後、速やかに作成し、監督官に1部提出すること。また、異常及び故障箇所を発見した場合は、速やかに監督官に報告するとともに、報告書に明記すること。
(7) 本役務で、駐屯地の上下水、電力を使用する場合は、事前に監督官と調整するものとし、その際の使用量は支払うこと。
(8) 本役務で生じた発生材のうち、監督官が指示する鉄屑等については、種別毎に整理したうえで指定場所へ搬入し、所定の調書を添えて官側に引き継ぐものとする。その他の発生材については、請負者の責任において全て構外へ搬出し、関係法令等に従い適正に処分すること。
(9) 監督官の指示した書類は、工期限内に提出すること。書類の提出をもって完了検査を実施するものとする。

5 特記事項

- (1) 点検実施者は、その作業等の内容に応じ、必要な知識及び技能を有する者とする。また、吸収式冷温水機の点検については、メーカー技術者による点検を実施すること。
(2) 法令により作業等を行う者の資格が定められている場合は、当該資格を有する者が当該作業等を行うものとし、その資格の免状等の写しを1部監督官に提出すること。
(3) 保守点検は【7 点検表】を標準として実施し、規定値、正常値等、基準となる値については各メーカーによるものとする。

(4) 保守点検実施時期

- ア 冷房シーズンイン点検 : 契約締結後速やかに
※令和7年5月7日の冷房開始までに点検を完了させること。
イ 冷房シーズンオフ点検 : 冷房運転終了後※細部は官側と調整すること。
ウ 暖房シーズンイン点検 : 令和7年10月※細部は官側と調整すること。
エ 冷暖房シーズン期間中点検 : 冷暖房期間中※異常があった場合のみ

(5) 保守点検の点検区分は【6 設置場所・機種及び点検区分】による。

(6) 点検の結果に応じ実施する整備の範囲は、次のとおりとする。

- ア 汚れ、詰まり、付着物等がある部品又は点検部の清掃
(冷却塔については、高圧洗浄機等で入念に清掃すること。)
イ 取付不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
ウ ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増し締め
エ 次に示す消耗部品等で劣化が見られるものの交換・補充
(ア) 潤滑油、グリス、充填油等
(イ) ランプ類、ヒューズ
(ウ) パッキン、ガスケット、Oリング類
(エ) 吸収式冷温水機の腐食防止剤の補充
(オ) 精製水
(カ) その他指示事項

オ ポンプ類のグランドパッキン及びメカニカルシールの交換

カ 接触部分、回転部分等への注油

キ 軽微な損傷がある部分の補修

ク 塗装(タッチペイント)

ケ その他これらに類する軽微な作業

(7) 点検は、原則として目視、触接又は軽打等により行うこと。

(8) 測定を行う点検は、定められた測定機器又は当該事項専用の測定機器を使用すること。

(9) 異常を発見した場合は、同様の異常の発生が予想される箇所の点検を行うこと。

(10) 故障箇所を発見した場合は、メーカー等に確認し、必ず原因を明確にすること。

(11) テリングユニット設備の建物は、暖房イン点検を実施しないため、冷房オフ点検時に各バルブを暖房用に切り替えること。

件名	空調機保守点検	図面番号	2/6
図名	仕様書①	縮尺	—
陸上自衛隊小倉駐屯地業務隊			

6 設置場所・機種及び点検区分

場所	点検機種	メーカー型式	能力	数量	点検区分		備考
					冷房	暖房	
143号隊舎 (No.143)	空冷ヒートポンプチラー	ダイトン工業 UWXY150FALCR	27.5KW	1台	○	○	
	冷温水ポンプ	川本製作所 GLE656M4ME5.5		2台	○		
125号隊舎 (No.125)	空冷ヒートポンプチラー	ダイトン工業 UWXY85FALCR	15.0KW	3台	○	○	
	冷温水ポンプ	川本製作所 GLE656M4ME5.5		2台	○		
警衛所 (No.120)	パナソニック形空調機	日立 RAS-AP280SH2	4.74冷凍	1台	○		
		日立 RCI-AP140K4X2	8.24kW	2台	○		
144号整備工場 (No.144)	空冷ヒートポンプマルチ(外)	日立 RAS-AP450SSR(K)	45.0kW	1台	○		
	空冷ヒートポンプマルチ(内)	日立 RCI-GP80K3	8.0kW	1台	○		
	空冷ヒートポンプマルチ(内)	日立 RCI-GP112K3	11.2kW	1台	○		
	空冷ヒートポンプマルチ(内)	日立 RCI-GP71K3	7.1kW	1台	○		
	空冷ヒートポンプマルチ(内)	日立 RCI-GP140K3	14.0kW	1台	○		
	空冷ヒートポンプマルチ(内)	日立 RCI-GP50K3	5.0kW	2台	○		
	空冷ヒートポンプマルチ(内)	日立 RCIID-GP36K3	3.6kW	1台	○		
地本庁舎 (No.147)	パナソニック形空調機(室外ユニット)	ダイトン工業 RXPY335P	4.61冷凍	1台	○		
	パナソニック形空調機(室内ユニット)	ダイトン工業 FXYFP140MB	14.0kW	1台	○		
		ダイトン工業 FXYFP112MB	11.2kW	1台	○		
		ダイトン工業 FXYFP90MB	9.0kW	2台	○		
		ダイトン工業 FXYCP56M	5.6kW	1台	○		
氷蓄熱ユニット	ダイトン工業 TSSP560P		1台	○			
小倉	空冷ヒートポンプビル用マルチファン(室外機)	ダイトン工業 RXTPI12DA	1.9冷凍	1台	○		屋上
		ダイトン工業 FXYFP56MM	5.6kW	1台	○		1階事務室
	空冷ヒートポンプビル用マルチファン(室内機)	ダイトン工業 FXYCP22CD	2.2kW	1台	○		1階健康管理室
		ダイトン工業 FXYCP22CD	2.2kW	1台	○		1階当直室
	空冷ヒートポンプビル用マルチファン(室外機)	ダイトン工業 RXTPI12DA	1.9冷凍	1台	○		屋上
		ダイトン工業 FXYCP36CD	3.6kW	1台	○		1階健康管理室
	空冷ヒートポンプビル用マルチファン(室内機)	ダイトン工業 FXYFP56MM	5.6kW	1台	○		1階病室
		ダイトン工業 RXTPI12DA	1.9冷凍	1台	○		屋上
	空冷ヒートポンプビル用マルチファン(室外機)	ダイトン工業 FXYCP36CD	3.6kW	1台	○		1階診療室(1)
		ダイトン工業 FXYFP56MM	5.6kW	1台	○		1階処置室
	空冷ヒートポンプビル用マルチファン(室内機)	ダイトン工業 SZRA40BFT	3.6kW	1台	○		1階薬品庫(1)
		ダイトン工業 RXTPI12DA	1.9冷凍	1台	○		屋上
	空冷ヒートポンプビル用マルチファン(室外機)	ダイトン工業 FXYCP36CD	3.6kW	1台	○		1階歯科治療室
		ダイトン工業 FXYCP22CD	2.2kW	1台	○		1階歯科技工室
	空冷ヒートポンプビル用マルチファン(室内機)	ダイトン工業 FXYCP22CD	2.2kW	1台	○		1階診療室(2)
		ダイトン工業 RXTPI12DA	1.9冷凍	1台	○		屋上
	空冷ヒートポンプビル用マルチファン(室外機)	ダイトン工業 FXYCP28CD	2.3kW	3台	○		1階待合室・廊下
		ダイトン工業 SZRM50BFT	4.5kW	1台	○		1階薬局
	空冷ヒートポンプビル用マルチファン(室内機)	ダイトン工業 SZRG40BFT	3.6kW	1台	○		1階薬品庫(2)
		ダイトン工業 RXUP224FA	4.49冷凍	1台	○		屋上
	空冷ヒートポンプビル用マルチファン(室外機)	ダイトン工業 FXYFP36MM	3.6kW	1台	○		2階居室(1)
		ダイトン工業 FXYFP28MM	2.8kW	1台	○		2階居室(2)
		ダイトン工業 FXYFP28MM	3.6kW	1台	○		2階居室(3)
		ダイトン工業 FXYFP36MM	3.6kW	1台	○		2階居室(4)
		ダイトン工業 FXYFP36MM	3.6kW	1台	○		2階居室(5)
		ダイトン工業 FXYCP22CD	3.6kW	1台	○		2階面会室

場所	点検機種	メーカー型式	能力	数量	点検区分		備考
					冷房	暖房	
小倉	169号隊舎 (No.169)	全熱交換器ユニット	三菱電機 LGH-N15RX3	12台	○		1階機械室
							1階事務室
富野	本部隊舎 (No.1)	水冷式リリグユニット	ダイトン工業 UW15MDR	45.1kW	1台	○	1階健康管理室
							1階病室
							1階廊下(無餐室系統)
							1階病床検査室
							2階居室(1)
							2階居室(2)
							2階居室(3)
							2階居室(4)
							2階居室(5)
							2階面会室
富野	本部隊舎 (No.1)	冷却塔	ダイトン工業 TIF153ASR	68.0kW	1台	○	2階病室
							冷水ポンプ
							温水ポンプ
							冷却水ポンプ

7 点検表

(1) チリングユニット点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②固定器具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。 ③防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	IN-OFF IN-OFF IN-OFF	
2 外観の状況			
a 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	IN-OFF	
b 保冷材	損傷及び脱落の有無を点検する。	IN-OFF	
3 内部の状況			
a 熱交換器	ファンコイルの汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN-OFF	
4 付属品			
a 温度計及び圧力計	①正常値を指示していることを点検する。 ②取付け部等の濡れの有無を点検する。 ③汚れ及び損傷の有無を点検する。	IN-OFF IN-OFF IN-OFF	
b 安全弁	漏れの有無及び作動の良否を確認する。	IN	
5 電気系統			
a 操作回路・動力回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN-OFF	
b 端子	緩み、変色及び破損の有無を点検する。	IN-OFF	
c クランクケースヒーター	①温度の異常の有無を点検する。 ②絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN-OFF IN-OFF	
d 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	IN-OFF	
e 電磁開閉器	異音及び劣化の有無を点検する。	IN-OFF	
f 接地	①断線及び緩みの有無を点検する。 ②接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN IN	
6 保安装置			
a 圧力開閉器	設定値で作動することを確認する。	IN	
b 吐出ガス温度サーモ	作動の良否を点検する。	IN	
c 断水リレー	作動の良否を点検する。	IN	
d インターロック	作動の良否を点検する。	IN	
e 冷水凍結防止サーモ	作動の良否を点検する。	IN	
f 可溶栓	変形、破損等の有無を点検する。	IN	
7 冷媒系統	①ガス漏れの有無を点検する。 ②配管の損傷、接触、磨耗、腐食等の有無を点検する。	IN-OFF IN-OFF	
8 潤滑油系統	油の汚れの有無及び油量の適否を点検する。	IN-OFF	
9 冷水及び冷却水系統	①濡れの有無を点検する。 ②弁の開閉の良否を確認する。	IN IN	
10 排水系統	通水試験を行い、流れに支障のないことを確認する。	IN-OFF	
11 運転調整			
a 音及び振動	異常のないことを確認する。	IN	
b 電源電圧・電流	①運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。 ②主電流、圧縮機電流及び送風機電流が規定値内にあることを確認する。	IN IN	
c 冷媒ガス	高圧側及び低圧側の圧力、温度等の冷媒ガスの状態を把握するために必要な計測を行い、その値が許容範囲内にあることを確認する。	IN	
d 冷媒機油	油圧、温度等を計測し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	IN	
e 熱交換状況	冷媒、冷却水及び冷水の温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	IN	
f 制御	温度、圧力、容量及びタイマー制御が設定値で作動することを確認する。	IN	
12 保存	水系統（排水系統を除く）は、確実に水を抜いたうえで保存する。	OFF	

(2) パッケージ形空調機点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②固定器具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	IN IN IN	
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	IN	室外機舎
3 冷房切替え	電気ヒーター、加湿器の電源遮断、自動制御機器の切替え並びに作動確認を行う。	IN	
4 水系統			
a 加湿用給水・冷却水	①弁の開閉を確認する。 ②濡れ及び汚れの有無を点検する。	IN IN	
b ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	IN	
c ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。	IN	
5 電気系統			
a 操作回路・動力回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN	
b 端子	緩み及び変形の有無を点検する。	IN	
c 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。	IN	
d クランクケースヒーター	通電、発熱状態の異常のないことを点検する。	IN	
6 送風機			
a Vベルト	緩み、亀裂、摩耗等の有無を点検及びオイル清掃を実施する。	IN	室外機舎
b 軸受	異常音、異常振動等の有無を点検する。	IN	室外機舎
c 羽根	汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN	室外機舎
d 電動機	回転方向が正しいことを確認する。	IN	室外機舎
7 エアフィルター			
a ろ材	詰まり、損傷等の有無の点検及び清掃を実施する。	IN	
b 枠	変形、腐食等の有無を点検する。	IN	
8 冷媒系統	①ガス漏れの有無を点検する。 ②配管の損傷等の有無を点検する。	IN IN	室外機舎 室外機舎
9 熱交換機	①フィンコイル及び凝縮器の汚れ、損傷等の有無を点検する。 ②補助ヒーターの汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN IN	室外機舎 室外機舎
10 加湿器	①作動の良否を点検する。 ②汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN IN	
11 保安装置			
a インターロック	①水冷式の場合は、冷却水ポンプ接点及びフロースイッチ接点の作動の良否を点検する。 ②室内送風機運転と（補助）電気ヒーターが連動して作動することを確認する。	IN IN	
b 圧力開閉器	作動の良否を確認する。	IN	
c 可溶栓又は安全弁	ガス漏れ、変形等の有無を確認する。	IN	
d 温度ヒューズ	熔断、変形及び変色の有無を点検する。	IN	
e 過熱防止器	作動の良否を確認する。	IN	
f 圧力計	指示値が正常であることを確認する。	IN	
12 自動制御機器	温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、圧力制御及び容量制御が設定値で作動することを確認する。	IN	
13 運転調整			
a 音、振動	異常のないことを確認する。	IN	
b 電源電圧	①供給電源電圧に異常のないことを確認する。 ②運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。	IN IN	
c 運転電流	①主電流及び圧縮機電流が定格以下にあることを確認する。 ②送風機及び加湿器の電流に異常が無いことを確認する。 ③電気ヒーターの電流が定格値にあることを確認する。	IN IN IN	
d 冷凍機油	汚損、劣化及び油量の適否を点検する。	IN	
e 熱交換状況	冷媒、室外機及び室内機の吹出し空気温度を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	IN	

(3) 水蓄熱ユニット

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①き裂、沈下等の有無を点検する。	IN	
	②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	IN	
2 タンク	③防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	IN	
	①水漏れ及び外面のさび、腐食、損傷等の有無を点検する。 ②水量の確認及び補充を実施する。	IN	
3 水発生装置	熱交換器部分の汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN	

(4) 冷却塔点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①き裂、沈下等の有無を点検する。	IN	
	②基礎ボルトの緩み及び劣化の有無を点検する。	IN	
	③防振装置の損傷等の有無を点検する。	IN	
	④防振ストッパーの緩み及び劣化の有無を点検する。	IN	
2 外観の状況	損傷、変形及び汚れの有無を点検する。	IN・OFF	
	a 本体	①損傷、変形、さび及び汚れの有無を点検する。 ②散水穴の目詰まりの有無を点検する。 ③散水管の回転が円滑であることを確認する。	IN・OFF
b 散水装置	①散水管の回転が円滑であることを確認する。	IN・OFF	
	②散水穴の目詰まりの有無を点検する。	IN・OFF	
c エリミネーター	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	IN・OFF	
	d ルーバー	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	IN・OFF
e 充填材	①スケール等の付着の有無を点検する。	IN・OFF	
	②目詰まりの有無を点検する。	IN・OFF	
f 架台	③座屈、変形等の有無を点検する。	IN・OFF	
	①損傷、変形、腐食等の有無を点検する。 ②固定金具の劣化及び組み立てボルトの緩みの有無を点検する。	IN・OFF	
g 梯子及び点検扉	損傷、変形、腐食等の有無を点検する。	IN・OFF	
	3 水槽		
a 本体	①内外面の損傷、変形及び汚れの有無を点検する。 ②水漏れの有無を点検する。 ③水位が規定の位置にあることを確認する。	IN・OFF	
	b 給水装置	ボールタップ等が確実に作動することを確認する。	IN・OFF
c ストレーナー	目詰まり、損傷等の有無を点検する。	IN・OFF	
d フレキシブルジョイント	接続部の緩み、腐食等の有無を点検する。	IN・OFF	
点検項目	点検内容	周期	備考
4 送風機			
	a 羽根車	①損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する。 ②回転に支障のないことを確認する。	IN・OFF
b ファンケーシング	損傷、腐食等の有無を点検する。	IN・OFF	
	c 軸受	①軸が円滑に回転することを確認する。 ②油量の適否を点検する。	IN・OFF
d 電動機	①損傷、腐食等の有無を点検する。 ②円滑に回転することを確認する。 ③絶縁抵抗値を測定し、その良否を確認する。	IN	
	e ベルト	①張り具合の適否を点検する。 ②損傷及び磨耗の有無を点検する。	IN・OFF
f ブーリー	損傷、摩擦等の劣化の有無を点検する。	IN・OFF	
	5 凍結防止装置	①サーモスタットが設定値で作動することを確認する。 ②ヒーターの作動電流が定格電流以下であることを確認する。 ③ヒーターの絶縁抵抗値を測定し、その良否を確認する。	IN
6 運転調整	①電動機の回転方向が正しいことを確認する。	IN	
	②異常音及び異常振動のないことを確認する。	IN	
	③電源電圧の変動が規定値内であることを確認する。	IN	
	④運転電流が定格値以下であることを確認する。	IN	
	⑤散水管の回転数が許容範囲内であることを確認する。	IN	
	⑥散水が均一に分散していることを確認する。	IN	
	⑦水槽の水位が運転前及び運転状態が適正であることを確認する。	IN	
7 シーズオフ時の保存	器内の水を確実に抜いたうえ保存する。	OFF	

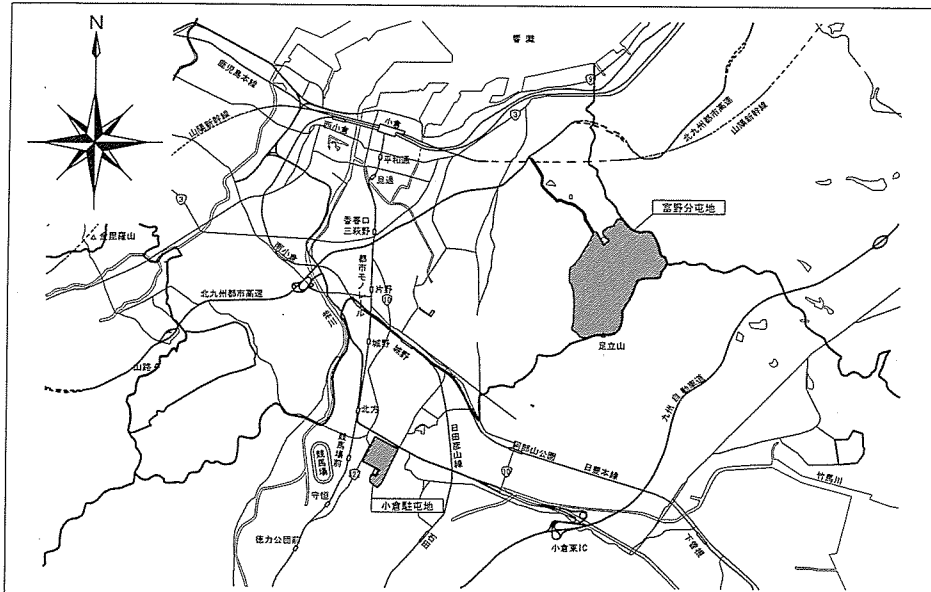
(5) ポンプ点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。	IN	
	②防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	IN	
2 外観の状況	①腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。	IN	
	②軸継手ゴムの損傷の有無を点検する。	IN	
	③ベルトの損傷等の有無を点検する。	IN	
	④芯出しの良否を確認する。	IN	
	⑤ポンプの吸込圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。	IN	
	⑥軸封の漏水状態を点検する。	IN	
3 電動機	①電動機が外部より調査できる場合は、発熱の異常の有無を点検する。	IN	
	②回転方向が正しいことを確認する。	IN	
	③絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN	
	④運転電流が、定格値以下であることを確認する。	IN	
4 フート弁・逆支弁	閉閉状態の良否を確認する。	IN	
5 圧力計・連成計又は真空計	①腐食及び損傷の有無を点検する。	IN	
	②指示値が適正であることを確認する。	IN	
6 運転調整	①運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。	IN	
	②運転電流が定格以下であることを確認する。	IN	

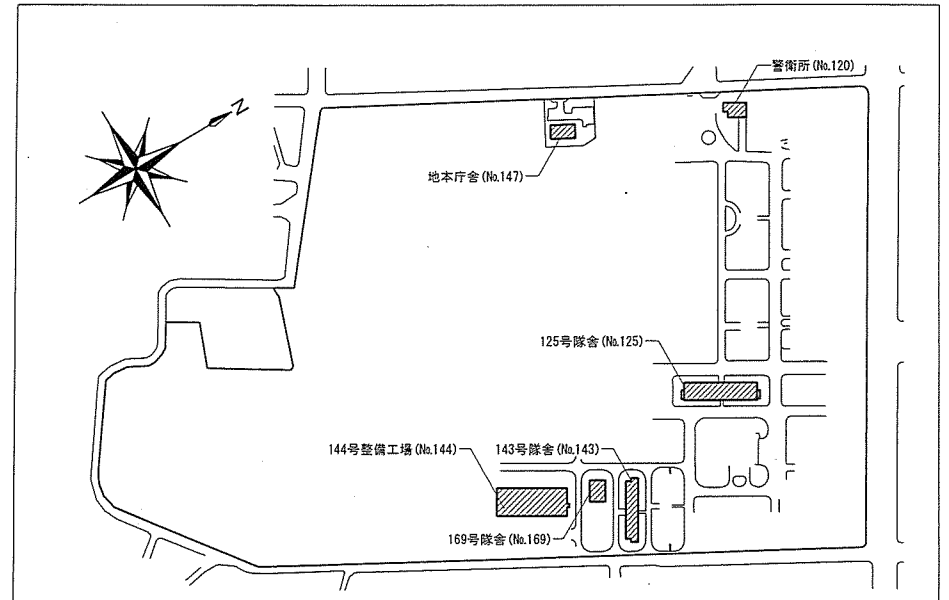
(6) エアハンドリングユニット点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①き裂、沈下等の有無を点検する。	IN	
	②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	IN	
	③防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	IN	
2 外観の状況			
	a 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	IN
b 保温材・吸音材	損傷及び脱落の有無を点検する。	IN	
3 送風機			
	a 羽根車	①汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。 ②回転バランスの良否を確認する。	IN
b シャフト	汚れ、さび、摩耗等の有無を点検する。	IN	
	c ベルト	弛み、摩耗、損傷等の有無を点検する。	IN
d ブーリー	摩耗等の有無を点検する。	IN	
	e 軸受	①異常音、異常振動等の有無を点検する。 ②給油の状態を点検する。	IN
f カップリング	摩耗、損傷等の有無を点検する。	IN	
	g 電動機	①絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ②回転方向が正しいことを確認する。 ③電流が定格値内であることを確認する。	IN
4 熱交換機	冷温水コイル、蒸気コイル等の汚損、腐食、損傷等の有無を点検する。	IN	
5 加湿器	①加湿ノズルの詰まりの有無を点検する。	IN	
	②作動の良否を点検する。	IN	
	③加湿状態検出ランプが点灯することを確認する。	IN	
6 エリミネーター	詰まり、腐食等の有無を点検する。		
7 給排水系統			
	a ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無の点検及び清掃を実施する。	IN
b ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、詰まりのないことを確認する。	IN	
8 エアフィルター			
	a ら材	詰まり、損傷等の有無の点検及び清掃を実施する。	IN
b 枠	変形、腐食等の有無を点検する。	IN	
9 運転調整	①運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。	IN	
	②運転電流が定格以下であることを確認する。	IN	

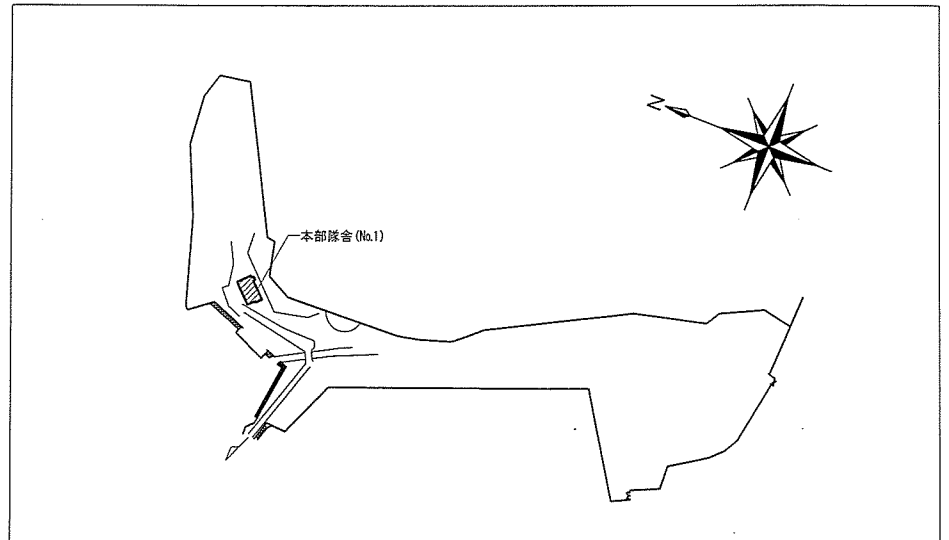
件名	空調機保守点検	図面番号	5/6
図名	点検表	縮尺	—
陸上自衛隊小倉駐屯地業務隊			



小倉駐屯地周辺案内図 1/80,000



小倉駐屯地配置図 1/X



富野分屯地配置図 1/X

件名	空調機保守点検	図面番号	6/6
図名	点検表 案内図・配置図	縮尺	—
陸上自衛隊小倉駐屯地業務隊			